

科目名	現代の国語	所属教科	国語	単位数	2	対象学年	2
使用教科書	高等学校 新編 現代の国語 (第一学習社)						

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を伸ばす。心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。また「読むこと・話すこと・書くこと」の基本をきちんと身につけさせる。

2 授業の内容と評価の方法

A 話すこと・聞くこと

- ア 話題について様々な角度から検討し、自分の考えを持ち、論理的に意見を述べること。
- イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。
- ウ 相手の立場や考え方を尊重して、課題解決のための話し合いを持つこと。
- エ 話し合いの内容や表現方法についての自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。

B 書くこと

- ア 目的に応じ題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。
- イ 文章の構成を工夫して、自分の考えを的確に表現したり、描写を工夫するなどして適切な表現を考えて書くこと。
- ウ 優れた表現に接しその条件を考えたり、自分たちの書いた文章に対し自己評価や相互評価を行って表現の向上を図る。

C 読むこと

- ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。
- イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。
- ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
- エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
- オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊にしたりすること。

3 評価方法

- (1) 単元テスト
- (2) 授業中の発言や質問、プリント作成等、積極的に取り組んでいるか。
- (3) 授業プリントなどの提出物がきちんとされているか。

4 配慮事項

基本的・基礎的な内容を重視し、生徒の能力や興味・関心に応じた素材の工夫や、学習の展開を構想する。図書館を積極的に活用し、辞書などを用いた調べ学習にも力を入れる。

単元名	教材名	配当時間
国語学習の心構え		1
表現の実践	生活体験文	8
話して伝える	スピーチで自分を伝える	8
書いて伝える	書き方の基礎レッスン	4
話して伝える	話し方の工夫	7
生活の中の表現	法律の改正に関わる文章を読み比べる	5
新しい出会い	「未知」はいくらでもある	5
前期		38

単元名	教材名	配当時間
言葉が開く世界	言語としてのピクトグラム	6
人間の風景	十六歳のとき	6
社会と人間	「弱いロボット」の誕生	3
現代と社会	イースター島になぜ森がないのか	2
論理分析	[対比] 「間」の感覚	3
論理分析	[具体と抽象] 日本語は世界をこのように捉える	5
論理分析	[推論] AIは哲学できるか	8
書いて伝える	身近な製品の取扱説明書を作成する	5
後期		38

